

参加者募集中！

第2期

外国ルーツ子ども若者 教育支援次世代リーダー 育成プロジェクト

お申し込みは
こちら



■ プロジェクト概要

「外国ルーツ子ども若者教育支援 次世代リーダー育成プロジェクト」は、
外国にルーツを持つ子どもや若者が直面する教育や環境の課題を理解し、解決へとつなげる力を育む
プログラムです。

本プロジェクトでは、現場でのフィールドワーク、行政担当者や支援者との対話、ディスカッションや
事業企画立案を通じて、多文化共生社会を担う次世代リーダーを育成することを目的としています。

■ プログラム内容

本プロジェクトは3つのフェーズによって構成されています。

フェーズ1 事前学習

10月 | オンライン研修

10/6 19～21時「多文化共生と平和」

11月 | フィールドワーク

in 広島「平和教育×多文化共生」

11/5 午後～夜

座学＋ワークショップ

11/6 終日：フィールドワーク

平和記念公園／基町アパート／
基町小学校

フェーズ2 課題化する

12月 | オンライン講義＋討議

(文科省担当者との対話)

- ①国の関連政策を学ぶ
- ②事業予算の考え方

1月 | オンライン研修

- ①地域の取り組みを学ぶ（仮）
- ②事業企画の立て方

フェーズ3 事業提案へ

2月 | 対面研修 in 東京or静岡

2月19日～20日 (1泊2日)

「受益者ニーズと地域支援（仮）」

- ①フィールドワーク
- ②事業企画発表



※集合場所・時間や宿泊先の手配等についてはお申込みいただいた方へ別途ご案内いたします。

■ 募集要項

対象：外国ルーツの子ども若者支援に関心を持ち、
課題解決に意欲のある10～30代の方

定員：16名

費用：学生無料、社会人20,000円

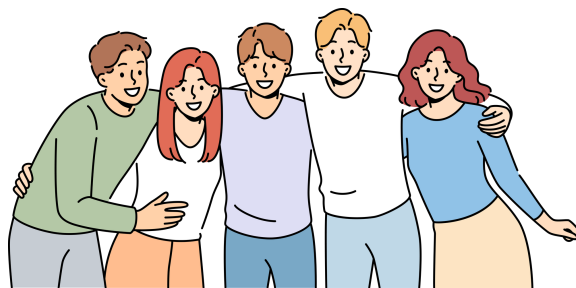
※交通費・宿泊費は原則自己負担（学生は一部補助あり）

★必須要件：

- ・全5回のプログラムに原則参加可能なこと
- ・日本語でディスカッションができること
- ・安定したオンライン環境を準備できること
- ・前向きにチーム学習へ貢献できる意欲があること

☆歓迎要件：

- ・外国ルーツ支援や多文化共生について学んだ／
関わった経験がある
- ・NPOや自治体などでのキャリアを志向・経験している
- ・将来のキャリアで学びを活かしたいと考えている



主宰・お問い合わせ

NPO法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部
メールアドレス：minc_ldp@npo-ysc.jp

申し込み締め切り

9.23

外国ルーツ子ども若者教育支援 次世代リーダー育成プロジェクト ～ 講師紹介 ～

分野に精通する計5名の講師が皆さんの学びをサポートします！



神吉 宇一 Uichi Kamiyoshi

武蔵野大学学外学修推進センター長・グローバル学部教授

社会人のはじまりは小学校教師、その後、日本語教師、経産省系財団の専門職等を経て2013年より大学教員。専門は日本語教育政策、地域日本語教育。

「日本語教育を通して社会をよくしたい」

そんな理想を持っている人にぜひ参加してほしいと思います。

日本語教育と言っても、教室で日本語を教える以外にさまざまな関わり方があります。その可能性を開きたい方、大歓迎。

南浦 涼介 Ryosuke Minamiura

広島大学 大学院人間社会科学研究科 准教授

社会人のはじまりはタイで日本語教師、その後、小学校中学校高校の日本語指導や教科担当の先生を経て、2010年より大学教員。社会科教育から日本語教育を経て、現在は学校のカリキュラム論、授業論、評価論と外国人児童生徒の教育が中心。

「多文化多言語をめぐって、地域や学校をデザインできる人になりたい」という視点は案外難しくて、泥の中で転がりながら地図を見定められる。そういう人が増えていくといいなと思います。



田中 宝紀 Iki Tanaka

特定非営利活動法人青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部 責任者
学生時代に立ち上げたフィリピンの子ども支援NGOを卒業後も継続。

そこから派生し、2010年度から現職に就く。外国ルーツの子ども・若者のための専門教育支援事業「YSCグローバル・スクール」を運営。並行して外国ルーツの子どもや保護者らの現状と課題を広めるため、SNSや講演などで情報発信を行う。

外国ルーツの子ども支援の分野は現在、その取り組みの重要性が増しており、学校内やNPOで仕事として支援に取り組む人も増えてきています。

外国人を取り巻く状況が目まぐるしく動く中で、最先端の現場の現状や課題をぜひ、共に学んでいきましょう！



上記3名他、外部講師1～2名登壇予定